

養鶏農家が参画した鶏ふん燃烧発電による家畜排せつ物処理負担の軽減

<概要>

- 事業実施主体：みやざきバイオマスリサイクル（株）
こゆぐんかわみなみちよう
（宮崎県児湯郡川南町）
- 発電設備：バイオマス発電
発電出力 11,350kW
発電電力量 7,440万kWh/年（H27実績）
- 燃料：鶏ふん（ブロイラーふんを直接燃烧させて発電）
13.2万トン/年
- 建設費：約41億円
- 運転開始時期：平成17年5月



発電施設の外観

<特徴>

- 家畜排せつ物法の施行等へ対応するため、県内の養鶏農家、ブロイラー会社、電力関連会社の共同出資により設立。
- 鶏ふんを燃料とする発電所としては、国内最大級のバイオマス発電施設である。
- 県内の養鶏農家及びブロイラー会社と連携し、年間約13万トンの鶏ふんを安定的に確保することで、鶏ふんの適正処理につながり、県内の安定した養鶏営農に寄与。
- 発電（焼却）に伴い発生した灰は、リンやカリウムを含む有機由来の肥料の原料として販売されており、資源循環型社会の構築に貢献。